

令和元年(2019年)6月1日発行

学業奨励奨学金、大川陽康奨学金 認定証授与式を挙行



認定を受けた学生(各学科2学年)と成田学長

4月10日、学業奨励奨学金および大川陽康奨学金の2019年度認定証授与式が多目的講義棟(5号館)において執り行われた。

学業奨励奨学金は新2~4学年の学業成績優秀者を対象とした給付型奨学金である。昨年1年間の成績が特に優秀であったエクセレント・スチューデント(ES)に年額50万円、それに準ずるリマーカー(RS)に年額20万円が授与された。

この建物にしっかりと魂を吹き込んでほしい」と求めた。

成田健一学長は告辞の中で「皆さんはこの1年、周りの学生の手本となって活動してほしい。」と期待を込めた。

NIT-EMS2018環境マネジメント活動報告

NIT-EMS2018年度における環境マネジメント活動は、大学の50周年記念建設事業によるダイニングホール



学生環境推進委員会が運営するリサイクルショップ

学生環境推進委員会が運営するリサイクルショップ。ギョー活動では、目標を僅かに達成出来なかった。特にCO2排出量基準値は20%削減目標に対し14.7%削減と未達成。

省エネへの取り組みと施設・設備改善。空調の中間期完全停止など、継続実施。また、省エネ対策として、W1・W7棟の照明をLED化した。

環境方針カードなどの見直しと配布、高圧ガス・化学物質取扱講習会や環境特別講演会など学生や教職員に対し、環境意識の普及と啓発を継続実施した。



エコロジープレス

応用化学棟 建設進行中

最先端の研究機器を備え、今夏竣工

2018年5月着工の応用化学棟新築工事は7月末の竣工に向け、内装・電気・空調設備など仕上げ工事が進められている。

1階には最先端の分析機器、合成装置を備えるオープン研究スペースや化学実験室、3階には応用化学科の研究室・学生室・ゼミ室などが設けられ、多様な授業が行えるよう設計されている。

群(物理)の研究室の他、物理実験や応用化学科でも利用可能な実験機器を備えた共用実験室(4室)が設けられる。

この整備により、分散していた応用化学科の研究室や設備が集約され、2018年度の学部学科改編におけるハード面の整備が完了する。

建築面積: 2,000.04㎡ 延床面積: 4,631.83㎡ 規模: 地上3階(高さ: 17.19m) 構造: 鉄骨造(S造)



完成イメージ(CG)

本紙バックナンバーページをリニューアル!

1969年発行の創刊号から最新号まで、全紙面をPDFファイルで閲覧でき、ダウンロードによる保存も可能となった。

https://www.nit.ac.jp/nitnp/



2020年度入試情報

2020年度の入試概要。要や奨学金制度、入試変更点は左記のとおり(詳細は受験ガイド、各募集要項を参照)。

特別奨学生入試

出願資格は卒業見込みで評定平均4.3以上、単願の方。合格者は、1年目の授業料全額(98万円)免除、または半額(49万円)免除となる。

専門高校入試(S工業科)

出願資格は工業科卒業見込みで評定平均値4.3以上の方。入学手続締切日を年明けに設定し、切日を年明けに設定し、国公立大学等と併願を検討する方も応募できる。

特別入試奨学金の給付

成績・人物が優秀な方には、後述する入試奨学金(20万円)を給付。昨年度は42名の方が認められた。

入試奨学金の給付

1年目の学費減免で年額20万円を給付。一般入試、センター利用入試、一般推薦入試(公募制)、専門高校入試(S工業科)・(B工業科)合格者のうち、入試の成績が優秀で学業の伸びが期待できる方に給付。昨年度は341名の方が認められた。

インターネット出願

今年度から、すべての入試でインターネット出願となる(紙の願書廃止)。詳細は本学HPからご確認ください。

評定基準の変更

今年度から、専門高校入試(A工業科)評定基準を3.8へ変更。「高

オープンキャンパス

6/2日 7/13土 8/3土・4日 8/24土 9/8日 2020 3/21土

各日11:00~16:30(ランチ付)

お問合わせ・お申込み先: 教務部入試室 ☎0120-250-267

詳細はWEBサイトでご確認ください



4月2日、体育館において執り行われた入学式に引き続き、ウェルカム像が上映されたあと、成

## 新入生ウェルカムセレモニー 今春初開催!!

田学長が軽装で登場、歓迎の挨拶を行った。続いて、大型スクリーンにイメージ映像を映しながら、カレッジマイスタープログラム、情報メディア工学科の取組、カナダ研修について各担当教員が紹介。さらに学生自治会各委員会、クラブの代表者がステージ上に登場し、後輩たちにメッセージを送った。最後に木村英雄後援会長より後援会の紹介が行われたあと、出演者全員がステージ上集合。司会者が新入生歓迎のコールを発すると、紙吹雪が宙を舞った。

4年生(2020年3月卒)の内定獲得時期が早期化しており、6月初旬の就職内定率は60%を超えるものと予想している。経団連が2020年4月入社から就職協定のルールを廃止することを表明したことが大きな要因である。新聞紙上には「新卒一括採用見直し」「日本型雇用転機」といった見出しが躍っており、この先我が子の就職はどうなるのか、不安を感じている保護者の方もおられよう。

先結論を言えば、理工系学生の就職について

は、現行の新卒一括採用が当面は継続していくと予想している。しかし、低学年次からのインターンシップ(職場体験)の選定に関わる、早い時期での明確な就業意欲の醸成、自身の適性、興味といたった会社とのマッチングの基礎となる自己分析が必要となる。

就活の第一歩となる適性検査、SPI模範試験、エントリーシートト添削については、対象学年全員の受験を前提とした支援力キックラムが実現できた。受験料を負担して頂いた後援会のご厚意に感謝を申し上げます。また、企業研究や履歴書の書き方といった全員を対象とした支援の現実に努力していく所存である。



合同企業説明会

## 2019 先輩 だより

### 教育による格差をなくし 子供たちの可能性を広げたい

根本裕士さん 情報工学科第13期生 埼玉県立越谷総合技術高等学校出身



南アフリカ共和国の東に位置するエスワティニ王国。この山間の小国で、子供たちにパソコンの指導をしているのが根本裕士さんである。

根本さんは2007年、情報工学科に入学。神林研究室で通信関連の研究に励み、2011年に卒業した。NTTデータシステム技術(株)で6年間システムエンジニアとして勤務後、ベンチャー企業に転職。ここで多くの外国人技術者と交流し、文化や考え方の違いに興味を持ち、海外での活動に魅かれていった。2017年に退職後、フィリピンでの語学留学中に青年海外協力隊に応募し、2018年2月からエスワティニに着任した。

現在は、山道を1時間歩いて地元の高校に通い、パソコンの基本操作、ソフトウェアの使い方、ネットワークの仕組みから簡単なWebサイト作成まで、15~28歳の生徒約250人を相手に奮闘する。「地方にはパソコンがない家庭が多く、子供たちに使い方や大切さを教えることは難しい。だからこそ日々、子供たちの小さな発見の瞬間に立ち会えることに、やりがいを感じている。自分の活動が都市と地方の教育格差をなくし、子供たちの将来の選択肢を増やすことに繋がってほしい」と熱く語ってくれた。

## 新入生の出身地マップ

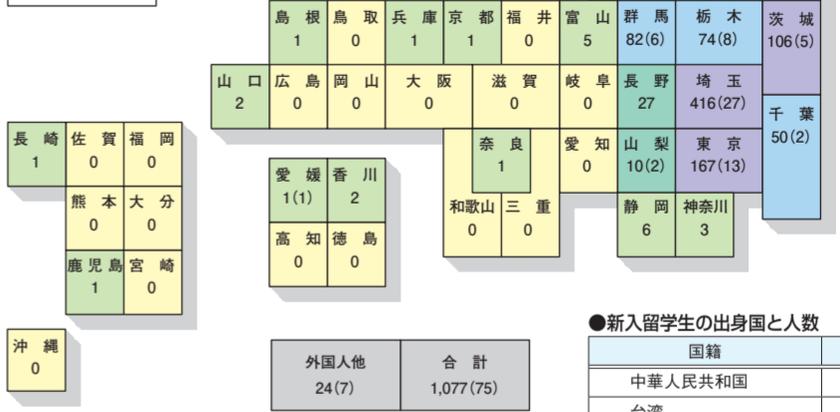
### 29都道府県から1,077名が入学

2019年度都道府県別入学者数がまとまった。総入学者数は1,077名(入学定員は1,000名)、うち女子学生は75名である。都道府県別入学者数は、昨年に続き埼玉がトップで416名。次いで東京が167名、茨城106名、群馬82名、栃木74名がベスト5。入学者は、全国29都道府県から集まっている。

※編入学生、および秋季入学者の数は含まない

(凡例)

入学者総数(女子)



# 令和の時代と専門職大学院

大学院技術経営研究科 教授 清水 弘

専門職大学院は、技術経営を学ぶ大学院として平成17年に設立された。今年で15年目となるが、この間に技術経営を取り巻く世の中の様子は大きく変化している。令和の時代をむかえるにあたり、時代の変遷とも言えるこの15年間の変化を、いくつかの視点で振り返ってみたい。

技術と社会の領域では、GAF(A(グーグル、アマゾン、フェイスブック)、アップル)と呼ばれる米国のデジタル企業の製品やサービスの普及が進んだ。日常生活でアプリが生み出したアプリ

専用職大学院は、技術経営を学ぶ大学院として平成17年に設立された。今年で15年目となるが、この間に技術経営を取り巻く世の中の様子は大きく変化している。令和の時代をむかえるにあたり、時代の変遷とも言えるこの15年間の変化を、いくつかの視点で振り返ってみたい。

技術と社会の領域では、GAF(A(グーグル、アマゾン、フェイスブック)、アップル)と呼ばれる米国のデジタル企業の製品やサービスの普及が進んだ。日常生活でアプリが生み出したアプリ

専用職大学院は、技術経営を学ぶ大学院として平成17年に設立された。今年で15年目となるが、この間に技術経営を取り巻く世の中の様子は大きく変化している。令和の時代をむかえるにあたり、時代の変遷とも言えるこの15年間の変化を、いくつかの視点で振り返ってみたい。

技術と社会の領域では、GAF(A(グーグル、アマゾン、フェイスブック)、アップル)と呼ばれる米国のデジタル企業の製品やサービスの普及が進んだ。日常生活でアプリが生み出したアプリ

専用職大学院は、技術経営を学ぶ大学院として平成17年に設立された。今年で15年目となるが、この間に技術経営を取り巻く世の中の様子は大きく変化している。令和の時代をむかえるにあたり、時代の変遷とも言えるこの15年間の変化を、いくつかの視点で振り返ってみたい。

技術と社会の領域では、GAF(A(グーグル、アマゾン、フェイスブック)、アップル)と呼ばれる米国のデジタル企業の製品やサービスの普及が進んだ。日常生活でアプリが生み出したアプリ

## 学生支援部長賞・環境活動優秀賞

学生支援部長賞は国家試験合格、競技大会出場、地域貢献など、課外活動や社会活動において顕著な実績を残した学生が対象。環境活動優秀賞は環境

共生社会実現に向けた活動が認められた学生が対象。3月19日の表彰式において、竹内学生支援部長より受賞者に表彰状が贈られた。

### 学生支援部長賞

学科	氏名又は団体名	申請内容
情報工学科	飯田 椋太	応用情報技術者試験合格(単位認定4単位)
創造システム工学科	奈良 勇輝	第15回キャンパスベンチャーグランプリ東京で特別賞「リそな銀行賞」受賞
創造システム工学科	郭 森	「Chunhui Cup」中国留学生イノベーションと起業家精神コンテストで入賞
生活環境デザイン学科	野口 敦也	無線コンテストで優秀な成績を収めた
建築デザイン専攻	里見 凌一	二級建築士合格(単位認定4単位に相当)
	吹奏楽団	杉戸警察署より年末年始特別警戒出陣式において演奏し、犯罪防止活動に貢献し、感謝状
	アーチェリー部	第57回全日本学生アーチェリー男子王座決定戦9位他
建築学科	KOYA	第3回かすかべビジネスプランコンテストで春日部商工会議所賞 春日部市商工会連合会賞受賞
電気電子工学科建築学科	ピリットとNIT	春日部市学生政策提案コンテスト2018で最優秀賞受賞
情報工学科	カオス研究所	第3回ドコモ近未来社会学生コンテストで最優秀賞受賞

### 環境活動優秀賞

建築学科	荒井 達喜
------	-------



専用職大学院は、技術経営を学ぶ大学院として平成17年に設立された。今年で15年目となるが、この間に技術経営を取り巻く世の中の様子は大きく変化している。令和の時代をむかえるにあたり、時代の変遷とも言えるこの15年間の変化を、いくつかの視点で振り返ってみたい。

技術と社会の領域では、GAF(A(グーグル、アマゾン、フェイスブック)、アップル)と呼ばれる米国のデジタル企業の製品やサービスの普及が進んだ。日常生活でアプリが生み出したアプリ

専用職大学院は、技術経営を学ぶ大学院として平成17年に設立された。今年で15年目となるが、この間に技術経営を取り巻く世の中の様子は大きく変化している。令和の時代をむかえるにあたり、時代の変遷とも言えるこの15年間の変化を、いくつかの視点で振り返ってみたい。

技術と社会の領域では、GAF(A(グーグル、アマゾン、フェイスブック)、アップル)と呼ばれる米国のデジタル企業の製品やサービスの普及が進んだ。日常生活でアプリが生み出したアプリ

## 2019年度 科学研究費補助金内定

4月1日に日本学術振興会より科学研究費助成事業の交付内定が通知され、本学は新たに下記17件の研究課題が新規採択を受けた。継続課題24件を含めると、本年度は41件の課題が科学研究費の助成を受けることとなる。

本学教員の研究課題は、ものづくりの基盤を支える技術から今後の技術革新に繋がる可能性を秘めたもの、人文社会システムや学習そのものに着目した研究など、多岐にわたる。わが国の科学技術や学術の発展に貢献できるよう期待したい。

### 2019年度 科学研究費助成事業 交付決定者・内定者一覧

研究種目	学科	職	研究代表者氏名	継続/新規	採択年度	研究課題
基礎研究(B)	応用化学科	教授	白木 将	新規	2019	全固体電池における固固界面イオニクス：構造物性相関の解明
基礎研究(C)	機械工学科	教授	神 雅彦	新規	2019	次世代モーター用電磁材料の超音波振動セン断技術に関する研究
基礎研究(C)	電気電子通信工学科	准教授	木村 貴幸	新規	2019	大規模ライドシェアシステムに対する非線形力学系理論を用いた経路制御手法
基礎研究(C)	応用化学科	教授	大澤 正久	新規	2019	単分子で白色発光を示すd10金属二核ハイブリッド材料の開発
基礎研究(C)	応用化学科	教授	新倉 謙一	新規	2019	タンニン酸-PEG複合体の形状・サイズ制御法の確立とワクチンへの応用
基礎研究(C)	応用化学科	准教授	福田めぐみ	新規	2019	電荷相互作用に基づく無機材料選択的結合ヘブチドの合理的設計法
基礎研究(C)	ロボティクス学科	教授	鈴木 宏典	新規	2019	多重追突事故防止型自動運転技術の開発：先行車の減速意図予測に基づく車群安全の実現
基礎研究(C)	ロボティクス学科	教授	樋口 勝	新規	2019	中小企業におけるスマートファクトリー実現のためのワイヤ駆動デルタロボットの開発
基礎研究(C)	情報メディア工学科	教授	桑野 文洋	新規	2019	社会実装型PBLのリスク分析手法に関する研究
基礎研究(C)	情報メディア工学科	准教授	勝岡田 仁	新規	2019	複数のスマートデバイスを活用した個人適応型学習環境の研究開発
基礎研究(C)	情報メディア工学科	准教授	松浦 隆文	新規	2019	移動シェア問題に対するニューラルネットワークを用いたオンラインアルゴリズムの開発
基礎研究(C)	建築学科	教授	吉野 一	新規	2019	可搬型局所換気装置による介護空間の空気環境改善に関する研究
基礎研究(C)	建築学科	准教授	樋口 佳樹	新規	2019	コンポストイリ導入による自宅と地域における災害発生直後の排泄環境整備
基礎研究(C)	共通教育学群	教授	本村 猛能	新規	2019	国際比較を踏まえた我が国の情報教育カリキュラム体系化と教材提案及び実践研究
若手研究	建築学科	助教	箕輪 健一	新規	2019	形状記憶合金による大空間ラジエーション屋根の地震応答制御および残留変形対策
若手研究	共通教育学群	講師	高岡 邦行	新規	2019	日本とミャンマーにおける数学教育の比較研究-留学生に対する教科指導を目的に-
若手研究	共通教育学群	講師	齋藤早紀子	新規	2019	日常歩行の審美性における運動学的機序
基礎研究(C)	機械工学科	教授	張 暁友	継続	2018	特殊加工用5自由度制御型磁気・圧電素子ハイブリッド駆動アクチュエータの研究
基礎研究(C)	電気電子通信工学科	教授	高瀬 浩史	継続	2018	零サイドローブ特性を持つパルス圧縮符号の探求と応用
基礎研究(C)	電気電子通信工学科	教授	宇賀神 守	継続	2018	ソフトウェア無線に適した高感度で帯域可変な3相信号処理無線受信LSI設計技術
基礎研究(C)	ロボティクス学科	准教授	秋元 俊成	継続	2018	動脈血酸素飽和度の非接触測定の研究
基礎研究(C)	情報メディア工学科	教授	辻村 泰寛	継続	2018	大学の工学教育における地域連携型社会実装PBLのカリキュラムデザイン
基礎研究(C)	情報メディア工学科	准教授	橋浦 弘明	継続	2018	ビッグデータを用いたソフトウェア開発プロセス分析基盤の研究
基礎研究(C)	共通教育学群	教授	工藤 浩	継続	2018	「先代遺事本紀」の注釈的研究
基礎研究(C)	共通教育学群	准教授	狩野 みか	継続	2018	改良型小型圧力セルによる擬一次元有機導体の新規物性解明
若手研究	共通教育学群	講師	内藤 貴仁	継続	2018	自由ループ空間の有理係数ホモロジーの研究
挑戦的研究(萌芽)	電気電子通信工学科	助教	清水 博幸	継続	2018	雷撃の衝撃波による椎茸発生メカニズム解明と栽培促進技術の確立
基礎研究(B)	電気電子通信工学科	教授	平栗 健史	継続	2017	Massive MIMOを用いた3次元ドローンメッシュネットワーク制御の研究
基礎研究(C)	機械工学科	教授	村田 泰彦	継続	2017	電磁誘導加熱を用いたフッ素エラストマーと熱可塑性樹脂との多層圧縮成形法の開発
基礎研究(C)	機械工学科	准教授	加藤 史仁	継続	2017	送液ポンプを集積化した無線駆動型高周波水晶振動子バイオセンサの開発
基礎研究(C)	電気電子通信工学科	教授	吉野 秀明	継続	2017	センサーデータの時空間集約による異常トラヒック検知手法の研究
基礎研究(C)	応用化学科	教授	伴 雅人	継続	2017	グラフェンを用いた硬/軟ハイブリッド基質によるヒト間葉系幹細胞の分化誘導
基礎研究(C)	応用化学科	准教授	芳賀 健	継続	2017	植物の光順応性を制御する分子機構の解明
基礎研究(C)	情報メディア工学科	准教授	神林 靖	継続	2017	移動エージェントと群知能を用いた群ロボットの効率的な制御の研究
基礎研究(C)	建築学科	教授	那須 秀行	継続	2017	塗布状制振素材及びテープ状制振素材による木造制振耐力壁の開発と実棟3次元挙動解析
基礎研究(C)	建築学科	助手	野口 憲治	継続	2017	長崎の近世町家の特質とその室内意匠
基礎研究(C)	共通教育学群	准教授	市川 泰弘	継続	2017	再帰代名詞を含むGET構文からの拡張：主語名詞の「働きかけ」の希薄化の観点から
基礎研究(C)	共通教育学群	准教授	川上 省三	継続	2017	ハニフ・クレインの作品に見られるイスラム教移民の意識の変化
若手研究(B)	機械工学科	准教授	桑原 拓也	継続	2017	プラズマ放電磁気機能性流体を用いた排ガス微粒子浄化の高機能化
基礎研究(C)	共通教育学群	准教授	河住有希子	継続	2016	視覚障害教育から切り拓く国際共生社会における日本語インクルーシブ教育の基盤構築
若手研究(B)	共通教育学群	講師	佐藤 由佳	継続	2016	世界初の長時間連続/高分解能/多点観測の構築に基づく中・短波帯オーロラ電波の探査

## 第11回 3D-CADプロダクトデザインコンテスト

### 「身につける機械」「動きのあるおもちゃ」

斬新で独創的な「ものづくり」のアイデアを3D-CADで表現するコンテスト。今年度の募集はテーマ部門「身につける機械」、自由部門、SolidWorks部門「動きのあるおもちゃ」。優秀作品は最新の積層造形法で立体化され、展示される。エントリー締切は8月24日。

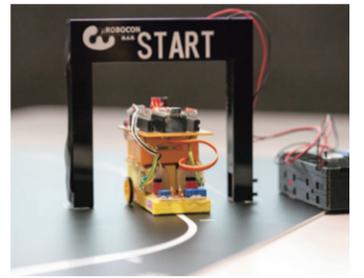


公式サイト：https://2c-laboratory.sakura.ne.jp/pdcontest/

## 第13回 マイクロロボコン高校生大会

### 1インチ角のロボットで競う

自作の超小型ロボットに既定の周囲コースを自律走行させ、1周の走行時間を競う。25.4mm角以内の機体を対象とした1インチ部門、初心者対象のネームカード部門を設定。夏休み期間中には本学教員や学生が指導する製作講習会を実施する。大会は12月21日に開催。



公式サイト：http://ise.nit.ac.jp/mrc.html

## 第33回 建築設計競技

### 「ひかりの建築に住む」

建築を学ぶ高校生を対象とした建築設計競技。今年は、光の体験が魅力的な建築作品を募集する。審査は建築家の西田司氏、本学建築学部の西本真一教授、吉村英孝准教授が担当する。提出期限は8月31日。審査結果は9月中旬、下記ウェブサイトにて発表される。



公式サイト：http://nit-kenchiku.jp/activities/

# 新たな学びの場を提案 埼玉県知事賞を受賞



建築学科(小川研究室)を3月に卒業した綱川毅さんが4月14日、埼玉県建築設計監理協会主催第19回卒業設計コンクール展において、埼玉をテーマとした最優秀作品に与えられる埼玉県知事賞を受賞した。受賞作品名は「ホームセンター」。

本作品は併せてJIAA(日本建築家協会)埼玉最優秀賞も受賞。全国学生卒業設計コンクールへの出品が決定している。

# ドローン通信網の研究で 学術奨励賞を受賞



大学院電子情報メディア工学専攻博士後期課程1年(平栗研究室)の設楽勇さんが3月21日、電子情報通信学会の学術奨励賞を受賞した。論文名は「ドローンの直線中継伝送におけるアクセス制御方式の一検討」。

現在、多数のドローン

を中継局として大規模通信網を構築する開発プロジェクトが平栗研究室を中心に他大学研究室と連携して進められている。本研究では障害物が無い上空で生じやすい電波干渉の課題に着目し、高い通信効率を得られる方式を提案した。本賞は33歳以下の若手研究者が主な対象で、受賞率2%の狭き門に学生として受賞したことは快挙である。

# 教育改革シンポジウム実施報告 【第57回】金沢工業大学における教育改革

2月26日、金沢工業大学名誉学長の石川憲一氏を講師に迎え、同学がこれまで実践してきた教育改革の諸取組をテーマにご講演いただいた。

石川氏は1994年、第5代学長に就任時「学生主体の大学の創成」を根幹に据え、学生、教員、職員各々の行動目標を定めた学長宣言とビジョンを策定。在任時には5次にわたる教育改革を順次推進するなど、教育改革の検討から実践、そして検証までの道筋を

解説した。教育改革はトップダウン方式だけではなし得ず、教職員一体となり「学生が主体的に学び行動できるように」

「教育目的を達成する授業とは」

本学では授業の改善と学習成果の向上を目指し「学生による授業評価アンケート」および「教職員による授業参観・相互評価」を実施している。今回のシンポジウムでは調査の動向と現状、結果



講師の石川名誉学長

人事異動  
【任命】(4月1日付)  
◆大学院技術経営研究科 長 小田恭市教授  
◆大学院技術経営研究科 学務長 三宅将之教授  
◆大学院技術経営研究科 中小企業診断士登録養成課程 主任 佐々木勉教授  
◆大学院技術経営研究科 教務委員長 清水弘教授  
◆工業技術博物館長 清水伸二客員教授  
◆英語教育センター長 兼 成田健一学長  
◆システム管理室長 須藤善衛学園システム本部長  
◆総合研究センター長 兼 渡部修一教授  
◆先端材料技術研究センター長 兼 渡部修一教授  
◆機械実工学教育センター長 兼 村田泰彦教授

# 地域連携事業実施報告 除草ヤギの小屋を制作

2018年9月末から約4カ月にわたって実施された埼玉県の事業「大学附属病院等整備予定地における除草ヤギを活用した実証実験」において、建築学科の竹内宏俊准教授、勝木祐仁准教授による指導のもと、竹内研究室の学生が中心となり、仮設ヤギ小屋の制作・設置等に取り組んだ。家畜の飼養衛生管理基準を満たしつつ、建築のデザインと工学の両面から実践的なものづくりと理論を同時に修得する教育研究活動の一環である。

ヤギが湿気を嫌うことから、仮設小屋は貫子状の床と棟に設けた換気口



ワークショップでは学生も工作指導を担当

# 春日部市の地域活性化事業に協力

草の見学会が2回にわたって開催された。延べ約500人の来場者があり、多くの地域住民がヤギとの触れ合いを楽しんだ。実験期間中にはヤギ除



仮設ヤギ小屋

本学は埼玉県春日部市との包括連携に基づき、大学での学びの成果を地域活性化や政策提案等に活かす活動を行っている。3月9日に行われた2件の事例を紹介する。■サイエンススクール 電気電子通信工学科の生駒哲一教授と学生ス

# 埼玉県教育委員会から感謝状

2月2日、埼玉県教育委員会から「子ども大学みやしろ」が表彰を受け、実行委員長の本学学生涯学習センター長・菊地信一教授に感謝状が贈られた。県は、子供の学ぶ



感謝状を受け取る菊地教授(右)

タッフ5名が、同市在住の小学生と保護者14組に対し、光を検知して曲が流れる電子オルゴールの製作を指導。電子回路やセンサー技術など理科の楽しさ、奥深さを十分に体験できるイベントとして好評であった。

■ワークショップ 建築学科の佐々木研究室と木下研究室では、粕壁宿の名残を持つ建物や空間など地域の特色を活かしたまちづくりに取り組み。その活動成果を発表するワークショップが

力地域の中で育むことを目的に2010年度から本事業を開始。本学は2011年度に参画し、地元宮代町の小学生を対象にものづくり体験学習を実施してきた。

# ベースボールフェスタ2019

3月9日、本学野球場にて開催。近隣の宮代町、杉戸町、幸手市、春日部市の学童野球チームや個人参加の小学生など120名と保護者、指導者、匠大家春日部本店で開催された。併せて、同市主催のコンテストに入賞した、本学学生の政策および地域活性化の提案も発表。今後、より実践的な活動・貢献に期待が集まるイベントとなった。

**赤倉山荘** 周辺の見どころ  
～秋～

赤倉山荘は飯綱山、黒姫山、妙高山等の山々が南北一直線に連なる妙高戸隠連山国立公園内にあり、登山やトレッキングに最適。近郊の妙高高原スカイケーブルによる空中散歩で遠く志賀、野沢の山並から野尻湖までを一望できます。例年の紅葉見頃は10月中旬～下旬。

宿泊等の詳細：大学HP>センター・付属施設  
お申込み・お問合せ：学生支援課

他大学の関係者も聴講に訪れた

◆産学連携起業教育センター長 兼 古閑伸裕教授  
◆インテリアデザインラボ 所長 兼 足立真教授  
◆スチューデントラボ 所長 兼 吉野秀明教授  
◆工業教育研究所 所長 兼 渡辺勉教授  
◆教職教育センター 長 兼 渡辺勉教授  
◆学修支援センター 長 兼 岩崎利信教授  
◆高大連携プロジェクト 室 長 兼 加藤秀治教授  
◆広報室 長 兼 菊地信一教授  
◆生涯学習センター 長 兼 菊地信一教授  
◆地域連携統括センター 長 兼 菊地信一教授  
◆LCセンター 長 兼 佐藤建夫 嘱託職員  
◆LCセンター 長 兼 高瀬浩史教授  
◆システム管理室 長 兼 橋浦弘明准教授  
◆IR室 長 兼 山口剛 講師  
◆施設環境管理課 主任 兼 国松俊彦  
◆教務課 主任 兼 森戸秀幸  
◆就職支援課 主任 兼 堀越 仁  
◆アドミッション・オフィス 主任 兼 沖田次朗  
◆アドミッション・オフィス 主任 兼 津留広明  
◆システム管理室 主任 兼 柳澤孝至

◆西本真一教授(建築学科) / 出張先 トルコ・イタリ ア・エジプト(3/21~3/29) / 目的 II 古代エジブ

◆加藤史仁准教授(機械工学科) / 出張先 II マレーシア(6/15~6/20) / 目的 II バイオセンシング技術に関する国際会議での研究発表

◆神林靖准教授(情報メディア工学科) / 出張先 II マルタ共和国(6/15~6/21) / 目的 II エーゼントトとマルチエージェント国際会議にて研究発表

◆桑原拓也准教授(機械工学科) / 出張先 II フランス(7/6~7/18) / 目的 II 磁性流体の国際会議での研究発表及びコンビエーニユ大学での研究打合せ

町より代り宮代町ツイッターをフォローしよう

学生のみなさん、宮代町の公式ツイッターをご存じですか。宮代町では、公式ツイッターのほか、環境や防災のツイッターを導入しています。公式ツイッターでは、町の観光情報や暮らしの情報は、四季折々の風景や学校給食のメニューなどを発信しています。最近のおススメは「今日の一枚」。その日に気になった風景を撮影しています。学校帰りに一足伸ばして今日の宮代を体感してみたいいかがですか。宮代町インターネット放送局では動画で見る宮代町を配信中心！こちらも要チェック！

◆イギリスの詩人 批評家のロスコモンは自著の『訳詩論』で「友を選ぶがごとく、著者を選ぶべ」と記している。一般的には内面を本を選ぶ。その後徐々に本に慣れるようになって、著者で選ぶようになっていく。著作は著者の人柄であることを発見するからだ。つまり、読書は著者と読者の会話であるといえる。ある識者は「読書は著者と読者の魂のキャッチボールである」と表現している。ただ「一見気難し」に見える作家も、一旦そのふところに入り込んでしまえば、たちまち「親しみやすく、話の通じる人」に早変わりする、ということだ。▼学生の皆さんも、この機会に皆さんの一生の友になる作家に出会って欲しいものだ。きっかけは何でも構わない。ただ間違いないと言えることは、読書の習慣がなければ、その機会は永遠にやってくる、という事実である。この機会に考頂ければ幸甚だ【信】